

# 点描ぐんま経済

日銀支店長

見聞録

114

先月下旬の週末をみなかみ町で楽しく過ごした。土曜日は初めての谷川岳の登山。昨年4月に群馬に赴任したときには膝をけがして、登山ができる状態ではなかった。やっと膝の具合が良くなって歩けるようになっていた。冬山登山の技術も経験もない私にとつて谷川岳ははるか遠い存在になつていた。そんな経緯から、雪解けを待ちわびて、群馬を代表する山の一つである谷川岳に念願かなつて登つたのだ。

谷川岳には、遭難者の多い山というイメージを

## 初夏のみなかみ

# 谷川とダム放流堪能

持っていた。支店の登山経験者からはトマノ耳までなら難しいコースではないと聞いていたが、やはり緊張する。登山アプ

囲の美しい山々を眺めることができた。

翌日の日曜日は、別の友人たちと合流して年に一度行われる矢木沢ダムの点検放流の見学に行った。昨年は家族で見学してとても面白かったの

を販売していて、お祭りのような雰囲気だ。

サイレンが鳴り放流が始まると、最初は少なかつた水量が徐々に増えて、最後は巨大な滝になる。しっかりと雨具を着て滝から舞い上がるしぶき(ダム汁)を全身に浴びる。昨年は点検放流に集まるダムファンがたく

るツアーにも参加。巨大なダムの提体を下から眺めると、きれいなアーチ型になっていることがよくわかる。巨大な水圧に耐えて、そのエネルギーを電気に替えて多くの産業を支えるダムは偉大だと実感する。

雪解けの谷川岳とダムの点検放流の見学は、初夏ならではの楽しみ方だ。一緒に行つた友人たちも、夏や冬とは一味違つみなか

リでコースと近況を確認し、必要な装備を整えて当日を迎えた。友人たちと一緒に谷川岳ロープウェイの山頂駅から歩き始める

復するシャトルバスにはたくさんの人が乗っている。ダムの手前の道路には、地元のお店がテントを張つて食べ物やお土産

復するシャトルバスには、今年はずつかりその中の1人になつていた。放流見学の後は、ダム内部の発電施設を見学す

さんいることに驚いた。みを楽しみながら季節を楽しめるみなかみのファンが増えることを願っている。

中でアイゼンを装着して登る場面もあり、息を切らせながらトマノ耳に到着。運よく雲が切れて周

肥後秀明 (ひご・ひであき)

1969年生まれ

茨城県出身。東京大経済学部卒。92年に日本銀行入行後、金融機構局審査企画課長兼上席審査役、金融機構局審査運営課長兼上席審査役などを歴任。2022年4月から現職。

